

# 第 70 回 (秋季) 講演大会講演プログラム

Contents of the Technical Papers for the 70th Grand Lecture Meeting  
of The Iron and Steel Institute of Japan.

## 第 1 会場 (製 鉄) 第 1 日 (10 月 13 日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目   | 講演者○印  |
|-----------|------|---|--|
| 8・50      |      | 大会実行委員長挨拶<br>開 会 の 辞                        | 九州支部長 和田 亀吉<br>会 長 湯川 正夫   |
| 9・00      | 1    | 室蘭第 2 高炉解体時の炉底残留物調査 (幻)                     | 富士製鉄, 室蘭製鉄所 城本 義光<br>〇 恵藤 文二<br>金山 有治...1773<br>〇 奥野 嘉雄<br>磯山 正<br>川崎製鉄, 千葉製鉄所 岩村 英郎<br>菊地 敏治...1715<br>〇 長井 保<br>山田 孝雄<br>栗原 淳作<br>川崎製鉄, 千葉製鉄所 岩村 英郎<br>菊地 敏治...1717<br>〇 長井 保<br>門元 啓五<br>富士製鉄, 室蘭製鉄所 山田 竜男<br>米沢 泰三...1719<br>〇 永井 忠弘<br>鈴木 清策<br>横田 亮二 |
| 9・25      | 2    | 千葉第 5 高炉の建設について                             | 川崎製鉄, 千葉製鉄所 〇 山田 孝雄<br>栗原 淳作<br>川崎製鉄, 千葉製鉄所 岩村 英郎<br>菊地 敏治...1717<br>〇 長井 保<br>門元 啓五<br>富士製鉄, 室蘭製鉄所 山田 竜男<br>米沢 泰三...1719<br>〇 永井 忠弘<br>鈴木 清策<br>横田 亮二   |
| 9・50      | 3    | 千葉第 5 高炉原料秤量装入設備について                        | 川崎製鉄, 千葉製鉄所 〇 長井 保<br>門元 啓五<br>富士製鉄, 室蘭製鉄所 山田 竜男<br>米沢 泰三...1719<br>〇 永井 忠弘<br>鈴木 清策<br>横田 亮二  |
| 10・15     | 4    | 高炉炉頂旋回シュート停止の操業への影響                         | 富士製鉄, 室蘭製鉄所 〇 山田 竜男<br>米沢 泰三...1719<br>〇 永井 忠弘<br>鈴木 清策<br>横田 亮二   |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |  |
| 10・45     | 5    | 大型高炉における輸入ペレットと燃結鉄の<br>比較試験結果について           | 八幡製鉄所, 戸畑製造所 研野 雄二<br>阿部 幸弘...1722<br>〇 酒見 哲蔵<br>日本鋼管, 水江製鉄所 松本 利夫<br>堀江 重栄...1725<br>〇 飯塚 元彦<br>深谷 一夫<br>川崎製鉄, 千葉製鉄所 岩村 英郎<br>菊地 敏治...1728<br>〇 門脇 繁幸<br>矢崎 徹<br>三郎   |
| 11・10     | 6    | 水江第 1 高炉における高生産性操業について                      | 日本鋼管, 水江製鉄所 〇 飯塚 元彦<br>深谷 一夫<br>川崎製鉄, 千葉製鉄所 岩村 英郎<br>菊地 敏治...1728<br>〇 門脇 繁幸<br>矢崎 徹<br>三郎   |
| 11・35     | 7    | 千葉第 2 高炉の高圧操業について                           | 〇 門脇 繁幸<br>矢崎 徹<br>三郎  |
| 昼 食 休 憩   |      |   |  |
| 13・00     | 8    | 戸畑第 3 高炉における酸素富化操業について                      | 八幡製鉄所, 戸畑製造所 研野 雄二<br>浅井 浩実...1730<br>〇 阿部 幸弘<br>花房 章次<br>富士製鉄, 釜石製鉄所 青木 猪三<br>〇 沢村 淳<br>田村 奨...1733<br>〇 太塩 靖<br>川崎製鉄, 千葉製鉄所 泉 碩純<br>吉田 浩<br>安藤 博文 佐々木 健二...1736<br>〇 榎谷 暢男<br>八幡製鉄所, 技術研究所 長井 保<br>〇 児玉 惟孝<br>斧 勝也...1739<br>〇 堀尾 竹良<br>高橋 輔             |
| 13・25     | 9    | 高炉への各種燃料吹込みの検討                              | 〇 沢村 淳<br>田村 奨...1733<br>〇 太塩 靖<br>川崎製鉄, 千葉製鉄所 泉 碩純<br>吉田 浩<br>安藤 博文 佐々木 健二...1736<br>〇 榎谷 暢男<br>八幡製鉄所, 技術研究所 長井 保<br>〇 児玉 惟孝<br>斧 勝也...1739<br>〇 堀尾 竹良<br>高橋 輔  |
| 13・50     | 10   | ドロマイト添加による高炉脱硫試験                            | 〇 榎谷 暢男<br>八幡製鉄所, 技術研究所 長井 保<br>〇 児玉 惟孝<br>斧 勝也...1739<br>〇 堀尾 竹良<br>高橋 輔  |
| 14・15     | 11   | 高炉における K, Na, Zn の蒸発について<br>(溶鉄炉の棚に関する研究-Ⅳ) | 〇 榎谷 暢男<br>八幡製鉄所, 技術研究所 長井 保<br>〇 児玉 惟孝<br>斧 勝也...1739<br>〇 堀尾 竹良<br>高橋 輔  |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |  |
| 14・45     | 12   | 溶鉄炉における R.I. の利用                            | 富士製鉄, 広畑製鉄所 〇 宮川 一男<br>久...1742<br>〇 三島 久<br>堀江 重栄<br>日本鋼管, 水江製鉄所 堀江 重栄<br>山本 倫久...1745<br>〇 深谷 一夫<br>永野 嘉彦  |
| 15・10     | 13   | 計算制御の高炉への導入 (幻)                             | 〇 深谷 一夫<br>永野 嘉彦   |

第 1 会場 (焼 結) 第 2 日 (10 月 14 日)

| 講演開始時間 | 講演番号 | 題 目                       | 講演者○印   |
|--------|------|---------------------------|---|
| 9・00   |      | 共同研究会報告講演会                |   |
|        |      | 製 鋼 部 会                   |   |
|        |      | 最近の製鋼法の進歩について             |   |
|        |      | 製鋼部会長 井 上 敏 郎             |   |
|        |      | 鋼 管 部 会                   |   |
|        |      | 鋼管製造技術上の 2, 3 の問題について     |   |
|        |      | 鋼管部会長 原 田 芳               |   |
|        |      | 条鋼部会線材分科会                 |   |
|        |      | 線材圧延工場の設備と技術の進歩について       |   |
|        |      | 線材部会主査 浅 田 幸 吉            |   |
|        |      | 昼 食 休 憩                   |   |
| 13・00  | 14   | 鉄鉱石の融点, 濡れ性と燃結特性について (幻)  | 八幡製鉄所, 八幡製造所 深川弥二郎<br>川村 稔...1747<br>○若山 昌三<br>梅津 善徳  |
|        |      | 討 論 会                     |   |
| 13・25  | 15   | 焼結原料の分類について (幻)           | 富士製鉄, 室蘭製鉄所 城本 義光<br>〃 広畑製鉄所 神原健二郎...1750<br>〃 〃 〃 宮川 一男<br>〃 室蘭製鉄所 〇萩原 友郎<br>〃 広畑製鉄所 沖川 幸正 |
| 15・00  |      | 特 別 講 演 会                 |   |
|        |      | 1. 造船業界の将来の展望と鉄鋼材料に対する要望  |   |
|        |      | 三菱重工業(株)長崎造船所 副所長 秋 友 素 身 |   |
|        |      | 2. 演題未定                   |   |
|        |      | 日本建築学会副会長 東京大学教授 坪 井 善 勝  |   |

第 1 会場 (製 鉄) 第 3 日 (10 月 15 日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目                                      | 講 演 者 ○印  |
|-----------|------|--|---|
| 9・00      | 16   | 還元におよぼす温度の影響<br>(鉄鉱石層の還元実験—Ⅳ)            | 茨城大学工学部 ○相馬 胤和…1753   |
| 9・25      | 17   | 鉱石性状の高炉操業に与える影響<br>(鉱石性状の評価—Ⅰ)           | 川崎製鉄, 千葉製鉄所 安藤 博文<br>〇榎谷 暢男…1756<br>原田 崇試                               |
| 9・50      | 18   | 鉱石性状の高炉操業に与える影響<br>(出鉄量に与える鉱石性状の影響—Ⅰ)    | 川崎製鉄, 千葉製鉄所 岩村 英郎<br>〇榎谷 長井 健二<br>佐々木 保…1758<br>安藤 博文<br>梅垣 邦一<br>榎谷 暢男 |
| 10・15     | 19   | 鉄鉱石の熱割れについて                              | 八幡製鉄所, 技術研究所 石光 章利<br>菅原 欣一…1760<br>〇佐藤 勝彦                              |
| 5 分 間 休 憩 |      |  |   |
| 10・45     | 20   | 鉄鉱石還元試験の高炉操業への適用                         | 八幡製鉄所, 技術研究所 児玉 惟孝<br>八幡製造所 斧 勝也…1763<br>技術研究所 堀尾 竹弘<br>〇彼島 秀雄          |
| 11・10     | 21   | 鉄鉱石の還元速度がコークス比におよぼす影響                    | 八幡製鉄所, 戸畑製造所 研野 雄二…1766<br>〇阿部 幸弘                                       |
| 11・35     | 22   | 還元進行過程の調査<br>(小型高炉による製鉄過程に関する基礎研究—Ⅰ) (幻) | 東京大学工学部 〇大蔵 明光<br>F.P. Calderon…1769<br>〇松下 幸雄                          |
| 昼 食 休 憩   |      |  |   |
| 13・00     | 23   | 炭素析出におよぼす添加酸化物の影響 (幻)                    | 名古屋工業大学 〇平尾 次郎…1771   |
| 13・25     | 24   | ガス循環装置による炭素析出反応の研究(幻)                    | 九州大学工学部 八木貞之助<br>川崎製鉄 小野 陽一…1773<br>〇森 忠洲                               |

第2会場(原料処理・製鉄)第1日(10月13日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目   | 講演者○印  |
|-----------|------|---|--|
| 8・50      |      | 大会実行委員長挨拶(第1会場)<br>開会の辞                       | 九州支部長 和田 亀吉<br>会 長 湯川 正夫   |
| 9・00      | 25   | 平炉ダストの性状および種々な脱亜鉛法について<br>(平炉ダストの脱亜鉛に関する研究-I) | 富士製鉄, 技術開発部 池野 輝夫<br>" 室蘭製鉄所 太田 満喜雄...1777<br>" 中央研究所 山田 光二<br>" " 〇永野 恭一                |
| 9・25      | 26   | 塩化揮発ばい焼法による鉄鉍の脱スズ                             | 九州工学大学 〇岡元 敬蔵...1779<br>" 植田 安昭  |
| 9・50      | 27   | ラテライトの脱クロム試験ならびにクロマイ<br>トの鉍物学的性状について          | 富士製鉄, 中央研究所 高橋 愛和<br>" " 岩崎 巖...1782<br>" " 〇加畑 長<br>" " 小口 哲夫                           |
| 10・15     | 28   | カルボニル法によるラテライト鉍石の脱ニッ<br>ケルの研究(幻)              | 八幡製鉄, 東京研究所 近藤 真一<br>" " 松本 竜太郎...1784<br>" " 〇中村 正和                                     |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |  |
| 10・45     | 29   | 水性ガスによるラテライトの流動還元に<br>ついて                     | 金属材料技術研究所 田中 稔<br>資源技術試験所 森川 薫淳...1786<br>" " 〇浜田 善久<br>" " 奥山 連勝                        |
| 11・10     | 30   | 種子島砂鉄原砂についての検討<br>(砂鉄の熱磁選に関する基礎研究-II)<br>(幻)  | 八幡製鉄所, 技術研究所 石光 章利<br>" " 菅原 欣一...1789<br>" " 〇仲田 泰三                                     |
| 11・35     | 31   | 海底砂鉄中に含まれる燐分の存在状態に<br>ついて(幻)                  | 九州大学工学部 〇坂田 武彦...1792<br>" " 八木 貞之助  |
| 昼 食 休 憩   |      |   |  |
| 13・00     | 32   | ペレットの通気性について                                  | 八幡製鉄所, 技術研究所 小菅 高<br>" " 児玉 惟孝...1794<br>" " 八幡製造所 斧 勝也<br>" " 技術研究所 彼島 秀雄<br>" " 〇肥田 行博 |
| 13・25     | 33   | 高炉模型による装入物分布試験とその実際<br>高炉への適用(幻)              | 日本鋼管, 川崎製鉄所 小林 正<br>" " 〇里見 弘次...1797<br>" " 斎藤 汎  |
| 13・50     | 34   | 高炉出鉄口充填材の特性                                   | 黒崎窯業, 技術研究所 宮武 和海...1800<br>" " 〇高田 一郎   |
| 14・15     | 35   | 特殊鋼管を使う熱風炉の設計と基礎実験に<br>ついて                    | 富山大学工学部 〇森棟 隆弘<br>" " 加藤 正<br>" " 佐藤 恭一...1803<br>" " 島崎 利治<br>" " 若崎 建一                 |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |  |
| 14・45     | 36   | 熱風炉におけるBガス一重油混焼試験に<br>ついて                     | 日本鋼管, 鶴見製鉄所 長谷川 友博<br>" " 阪本 英一...1805<br>" " 〇美間 岩太郎<br>" " 本社技術部 黒田 浩一                 |

第2会場第2日(10月14日)は、講演発表がありませんので  
第1会場における討論会をご聴講下さい。

第 2 会場 (焼結・その他) 第 3 日 (10 月 15 日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目                      | 講 演 者                    | ○印                                       |
|-----------|------|--------------------------|--------------------------|--|
| 9・00      | 37   | ベッディング粉粒度の焼結性におよぼす影響について | 日本鋼管, 水江製鉄所<br>//<br>//  | 松本 利夫<br>堀江 重栄...1808<br>八浪 一温<br>○梶川 脩二 |
| 9・25      | 38   | 焼結原料中の磁鉄鉱配合量に関する検討 (幻)   | 富士製鉄, 釜石製鉄所<br>//<br>//  | ○庄野 四朗<br>伊藤 建三...1810<br>大淵 成二          |
| 9・50      | 39   | 焼結鉄生産性におよぼす石灰石粒度の影響      | 住友金属工業,<br>小倉製鉄所<br>//   | 坂本 大造<br>田中 義之...1812<br>○平原 弘章          |
| 10・15     | 40   | 焼結鉄生産性管理に関する一考察          | 八幡製鉄所, 戸畑製造所<br>//<br>// | 石川 泰<br>○松原 光照...1814<br>渡辺 芳光           |
| 5 分 間 休 憩 |      |                          |                          |  |
| 10・45     | 41   | 粉鉄石のスティッキネス測定について (幻)    | 八幡製鉄所, 技術研究所<br>//       | 石光 章利...1816<br>○菅原 欣一                   |
| 11・10     | 42   | 固体粉末鉄の脱硫について             | 九州工業大学<br>//             | ○沢村 企好...1818<br>溝口 数一                   |
| 11・35     | 43   | 半還元海綿鉄の脱硫試験              | 九州工業大学<br>//             | ○沢村 企好...1820<br>溝口 数一                   |
| 昼 食 休 憩   |      |                          |                          |  |

☞ 第 2 会場第 2 日 (10月14日) は, 講演発表がありませんので  
第 1 会場における討論会をご聴講下さい。

第 3 会場 (製鋼基礎) 第 1 日 (10 月 13 日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目   | 講 演 者                       | ○印                                      |
|-----------|------|---|-----------------------------|---|
| 8・50      |      | 大会実行委員長挨拶 (第 1 会場)<br>開 会 の 辞   | 九州支部長 和田 亀吉<br>会 長 湯川 正夫    |   |
| 9・00      | 44   | 炭素飽和溶鉄による $\text{CaO-Al}_2\text{O}_3\text{-SiO}_2$ 系鋅<br>滓の $\text{SiO}_2$ の還元  | 北海道大学工学部<br>〃               | 吉井 周雄...1823<br>○谷村 亨                   |
| 9・25      | 45   | 起電力法による溶鋼の脱酸速度の測定について<br>(高温における酸素濃淡電池の研究一<br>Ⅶ) (幻)  | 東京大学工学部<br>〃                | ○後藤 和弘...1825<br>松下 幸雄                  |
| 9・50      | 46   | ロッキング炉による溶鉄の脱硫反応について<br>(製鋼反応の速度論的研究一 I)  | 東京大学工学部<br>〃                | ○塩見 純雄...1828<br>後藤 和弘<br>松下 幸雄         |
| 10・15     | 47   | 溶融鉄合金の水素溶解度および黒鉛の水素吸<br>着<br>(純鉄, 鉄-炭素, 鉄-ケイ素, 鉄-炭素<br>-ケイ素系合金, 黒鉛)   | 早稲田大学理工学部<br>〃<br>東京芝浦電気    | 加藤 栄一...1830<br>○福田 重美<br>西 義雄          |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |                             |   |
| 10・45     | 48   | Fe-C-Cr 系溶鉄の窒素吸収速度<br>(溶鉄の窒素吸収速度に関する研究一Ⅳ)<br>(幻)  | 名古屋大学工学部<br>〃               | ○長 隆郎...1832<br>井上 道雄                   |
| 11・10     | 49   | 溶融鉄の窒素溶解度と酸素族元素の影響  | 東北大学工学部<br>〃                | 不破 祐...1834<br>萬谷 志郎<br>○石井不二夫          |
| 11・35     | 50   | 溶融スラグの水蒸気吸収に関する研究<br>( $\text{SiO}_2\text{-CaO}$ -酸性酸化物( $\text{P}_2\text{O}_5, \text{B}_2\text{O}_3, \text{GeO}_2$ )<br>ならびに $\text{SiO}_2\text{-CaO}$ -両性酸化物 ( $\text{Al}_2\text{O}_3,$<br>$\text{TiO}_2$ ) 系合成スラグの水蒸気溶解<br>度測定一 I) | 東北大学工学部<br>〃<br>日本鋼管, 技術研究所 | 不破 祐...1837<br>○萬谷 志郎<br>福島 勤           |
| 昼 食 休 憩   |      |   |                             |   |
| 13・00     | 51   | 中性付近での溶滓粘度の推定に関する一考察  | 名古屋工業技術試験所<br>〃             | ○小坂 岑雄...1840<br>高柳 猛                   |
| 13・25     | 52   | 溶融滓の電導度測定における槽恒数の決定<br>(溶融滓精錬に関する研究一 I)   | 名古屋工業技術試験所<br>〃             | ○加藤 誠...1844<br>蓑輪 晋                    |
| 13・50     | 53   | $\text{CaO}(41)\text{-SiO}_2(48)\text{-Al}_2\text{O}_3(11)$ 溶融滓の粘性<br>あるいは電導度におよぼす $\text{Na}_2\text{O}$ あるいは<br>$\text{Na}_2\text{SiF}_6$ 添加の影響 (溶融滓精錬に関<br>する研究一 I)   | 名古屋工業技術試験所<br>〃             | ○加藤 誠...1846<br>蓑輪 晋                    |
| 14・15     | 54   | $\text{CaO-SiO}_2\text{-Al}_2\text{O}_3$ 系溶融滓の粘性係数の球<br>体引上げ法による測定 (溶融滓精錬に関<br>する研究一Ⅲ)  | 名古屋工業技術試験所<br>〃             | ○加藤 誠...1849<br>蓑輪 晋                    |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |                             |   |
| 14・45     | 55   | $\text{CaO-SiO}_2\text{-Cr}_2\text{O}_3$ 3 元素スラグの粘性<br>(含クロム・スラグの粘性に関する研究一 I)   | 東北大学選鋳製錬研究所<br>八幡製鉄         | ○斎藤 恒三...1851<br>佐伯 啓三                  |
| 15・10     | 56   | $\text{CaO-SiO}_2\text{-Cr}_2\text{O}_3\text{-FeO}$ 4 元系スラグの粘性<br>とその粘性におよぼす $\text{CaF}_2, \text{TiO}_2$ などの<br>影響 (含クロム・スラグの粘性に関する<br>研究一 II)   | 東北大学選鋳製錬研究所<br>八幡製鉄         | ○斎藤 恒三...1855<br>佐伯 啓三                  |
| 15・35     | 57   | 溶鋼-溶融スラグ間の界面張力におよぼす<br>スラグ組成の影響<br>(鉄鋼製錬における界面現象に関する基礎<br>的研究一Ⅲ)  | 大阪大学工学部<br>〃<br>大同製鋼        | 足立 彰...1857<br>○荻野 和巳<br>末滝 哲也<br>斎藤 哲也 |

第 3 会場 (製鋼基礎) 第 2 日 (10 月 14 日)

| 講演開始時間 | 講演番号 | 題 目  | 講演者○印   |
|--------|------|--|---|
| 9・00   |      | <b>共同研究会報告講演会</b>                            |   |
|        |      | 製 鋼 部 会                                      |   |
|        |      | 最近の製鋼法の進歩について                                |   |
|        |      | 製鋼部会長 井 上 敏 郎                                |   |
|        |      | 鋼 管 部 会                                      |   |
|        |      | 鋼管製造技術上の 2, 3 の問題について                        |   |
|        |      | 鋼管部会長 原 田 芳                                  |   |
|        |      | 条鋼部会線材分科会                                    |   |
|        |      | 線材圧延工場の設備と技術の進歩について                          |   |
|        |      | 線材分科会主査 浅 田 幸 吉                              |   |
|        |      | 昼 食 休 憩                                      |   |
| 13・00  | 58   | 溶鉄の減圧下における水素脱酸 (幻)                           | 富士製鉄, 中央研究所 ○満尾 利晴<br>高見 敏彦...1860<br>伊東 利夫       |
| 13・25  | 59   | 減圧下における溶鉄中の 2, 3 の元素の蒸発速度 (真空溶解の基礎的研究-Ⅱ) (幻) | 金属材料技術研究所 郡司 好喜<br>片瀬 嘉郎...1863<br>青木 愿樹          |
| 13・50  | 60   | 溶鉄中のシリコン脱酸におよぼすバナジウムの影響 (幻)                  | 八幡製鉄, 東京研究所 瀬川 清<br>常富 栄一...1866<br>中村 泰<br>千野 博孝 |
| 14・15  | 61   | 溶鉄の Si 脱酸について (幻)                            | 東北大学金属材料研究所 ○坂上 六郎<br>鈴木いせ子...1869<br>佐藤 圭司       |
| 15・00  |      | <b>特 別 講 演 会</b>                             |   |
|        |      | 1. 造船業会の将来の展望と鉄鋼材料に対する要望                     |   |
|        |      | 三菱重工業(株)長崎造船所                                |   |
|        |      | 副所長 秋 友 素 身                                  |   |
|        |      | 2. 演題未定                                      |   |
|        |      | 日本建築学会副会長                                    |   |
|        |      | 東京大学教授 坪 井 善 勝                               |   |

第3会場(造塊)第3日(10月15日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目   | 講演者○印  |
|-----------|------|---|--|
| 9・00      | 62   | 凝固過程におけるCO気泡生成機構について<br>(セミキルド鋼塊の凝固組織に関する研究<br>-I) (幻)    | 富士製鉄, 広畑製鉄所 浅野 鋼一...1871<br>〇大橋 徹郎                                       |
| 9・25      | 63   | 管状気泡の数および鋼塊表面からの距離につ<br>いて(セミキルド鋼の凝固組織に関する研<br>究-II) (幻)  | 富士製鉄, 広畑製鉄所 浅野 鋼一...1874<br>〇大橋 徹郎                                       |
| 9・50      | 64   | 管状気泡の半径および長さについて<br>(セミキルド鋼塊の凝固組織に関する研究<br>-III) (幻)      | 富士製鉄, 広畑製鉄所 浅野 鋼一...1877<br>〇大橋 徹郎                                       |
| 10・15     | 65   | リムド鋼塊凝固中のリミングアクションの持<br>続状況<br>(製鋼工場におけるRIの利用-IX) (幻)     | 八幡製鉄所, 技術研究所 森 久<br>〇松尾 翠...1879<br>谷沢 清人<br>山手 実                        |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |  |
| 10・45     | 66   | リムド鋼塊のスキン厚さの算定について  | 八幡製鉄所, 技術研究所 一戸 正良<br>〇森田 重明...1881<br>戸畑製造所 森田 博幸<br>技術研究所 梶岡 光雄<br>〇神田 |
| 11・10     | 67   | 大型キルド鋼塊における2面, 4面スリーブ<br>押湯の比較について                        | 八幡製鉄, 戸畑製造所 森田 重明<br>〇山口 武和...1884<br>田中 安彦<br>丸岡 昭博<br>〇塚製鉄所 楠本 崇敏      |
| 11・35     | 68   | 鋼塊内部性状と鑄型テーパの関係   | トピー工業, 豊橋製造所 野口 祐正<br>〇石原 弘二...1885<br>挾間 保<br>須田 興世                     |
| 屋 食 休 憩   |      |   |  |
| 13・00     | 69   | 鋼塊の押湯の凝固について<br>(大型鍛造用鋼塊の凝固ならびに偏析に関<br>する考察-I) (幻)        | 三菱製鋼, 長崎製鋼所 田代 晃一<br>〇芳賀 三千億...1888<br>轟木 透                              |
| 13・25     | 70   | △偏析の生成に関する基礎実験<br>(大型鍛造用鋼塊の凝固ならびに偏析に関<br>する考察-II) (幻)     | 三菱製鋼, 長崎製鋼所 田代 晃一<br>〇芳賀 三千億...1890<br>轟木 透<br>大賀 栄次                     |
| 13・50     | 71   | △偏析の成因について<br>(大型鍛造用鋼塊の凝固ならびに偏析に関<br>する考察-IV) (幻)         | 三菱製鋼, 長崎製鋼所 田代 晃一<br>〇荒木 良平...1893<br>芳賀 三千億<br>轟木 透<br>大賀 栄次            |
| 14・15     | 72   | キャップド鋼ホットコイルの線状疵について<br>(幻)                               | 富士製鉄, 室蘭製鉄所 森永 孝三<br>〇佐藤 進...1895<br>広谷 宏<br>〇広本 健                       |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |  |
| 14・45     | 73   | DH処理中の溶鋼の混合と合金の溶解<br>(製鋼工場におけるRIの利用-VI)                   | 八幡製鉄所, 技術研究所 森 久<br>〇谷沢 清人...1898<br>八幡製鉄所, 技術部 松田 亀松<br>〇田中 英夫          |
| 15・10     | 74   | 純ニッケルの連続鑄造条件と鑄片および圧延<br>品の品質について<br>(鋼の連続鑄造に関する研究-IV) (幻) | 神戸製鋼所, 中央研究所 鈴木 章<br>〇高田 寿...1901<br>〇鈴木 弘明<br>岩屋工場 中島                   |
| 15・35     | 75   | 北日本特殊鋼における連続鑄造について  | 北日本特殊鋼, 八戸工場 〇小池 伸吉...1904<br>〇日景 徹                                      |



第 4 会場 (製 鋼) 第 1 日 (10 月 13 日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目   | 講演者○印  |
|-----------|------|---|--|
| 8・50      |      | 大会実行委員長挨拶 (第 1 会場)<br>開 会 の 辞                                   | 九州支部長 和田 亀吉<br>会 長 湯川 正夫   |
| 9・00      | 76   | 平炉精錬期の鋼浴状態変化におよぼす要因解析とその適用<br>(平炉溶製作業のモデル化—Ⅱ) (幻)               | 八幡製鉄所, 八幡製造所 坂本 正博<br>中川 一<br>森田 英臣...1907<br>吉井 等<br>〇杉原 弘祥<br>加賀谷武三郎         |
| 9・25      | 77   | 溶鋼の運動と噴出との関係について<br>(LD 転炉の模型による研究—Ⅰ) (幻)                       | 日本鋼管, 技術研究所 下間 照男...1909<br>〇佐野 和夫   |
| 9・50      | 78   | 多孔ノズルと単孔ノズルの操業比較について<br>(LD 転炉におけるランス・ノズルの検討—Ⅰ)                 | 富士製鉄, 室蘭製鉄所 林 清造...1911<br>〇小野修二郎<br>桑原 達朗                                     |
| 10・15     | 79   | ランス・ノズルに関する 2, 3 の理論的考察<br>(LD 転炉におけるランス・ノズルの検討—Ⅲ)              | 富士製鉄, 室蘭製鉄所 林 清造...1914<br>〇小野修二郎<br>桑原 達朗<br>東海製鉄 重松 淑生                       |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |  |
| 10・45     | 80   | 多孔ノズルの吹錬反応機構について<br>(純酸素上吹き転炉における吹錬反応機構の解析—Ⅴ) (幻)               | 日本鋼管, 技術研究所 川上 公成...1917<br>〇藤井 隆<br>今井泰一郎                                     |
| 11・10     | 81   | 吹錬時間ならびに製鋼歩留におよぼす副原料使用法の影響 (純酸素転炉による低炭素鋼溶製に際しての鋼滓中酸化鉄の含有量の研究—Ⅰ) | 日本鋼管, 水江製鉄所 板岡 隆...1920<br>三好 俊吉<br>山鹿 素雄<br>〇半明 正之                            |
| 11・35     | 82   | 転炉吹錬中の諸成分の挙動について (幻)  | 川崎製鉄, 千葉製鉄所 岡崎 有登...1922<br>技術研究所 〇松野 淳<br>岡野 忍                                |
| 昼 食 休 憩   |      |   |  |
| 13・00     | 83   | 純酸素転炉における屑鉄および冷鉄の溶解速度について                                       | 富士製鉄, 広畑製鉄所 大矢 竜夫...1925<br>古垣 一成<br>松永 久<br>〇富永 忠一<br>宮川 男<br>野村 悦夫           |
| 13・25     | 84   | 転炉における吹錬終から出鋼終までの溶鋼温度降下について (転炉における吹錬終から注入にいたる溶鋼温度降下について—Ⅰ)     | 八幡製鉄, 戸畑製造所 森田 重明...1928<br>〇平原 博<br>堺製鉄所 田中 功                                 |
| 13・50     | 85   | 転炉内のエマルジョン状スラグの浮上分離<br>(製鋼工場における R I の利用—Ⅷ) (幻)                 | 八幡製鉄所, 技術研究所 森 久翠...1930<br>〇松尾 義訓<br>縄田 清人<br>〇谷沢 実<br>山手 実                   |
| 14・15     | 86   | 転炉吹錬の数式モデルの検討   | 東海製鉄 小川清一郎...1933<br>〇森田 和之<br>大西 保之<br>〇直川 博俊                                 |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |  |
| 14・45     | 87   | 転炉の熱間補修について (幻)   | 日本鋼管, 鶴見製鉄所 根本秀太郎...1935<br>清水 達夫<br>〇水野 良親<br>技術研究所 島田 信郎                     |
| 15・10     | 88   | LD-AC 設備および操業結果の概略<br>(日本鋼管川崎転炉工場における LD-AC 操業について—Ⅰ) (幻)       | 日本鋼管, 川崎製鉄所 岸田 正夫...1937<br>〇西尾 好光<br>長 昭三<br>若林 専三<br>〇齋藤 剛<br>門間 玄悟<br>木村 成人 |

第 4 会場 (製 鋼) 第 2 日 (10 月 14 日)

| 講演開始時間 | 講演番号 | 題 目  | 講演者                    | 印                             |
|--------|------|--|------------------------|-------------------------------|
| 9・00   |      | 共同研究会報告講演会   |                        |                               |
|        |      | 製 鋼 部 会  |                        |                               |
|        |      | 最近の製鋼法の進歩について  | 製鋼部会長 井 上 敏 郎          |                               |
|        |      | 鋼 管 部 会  |                        |                               |
|        |      | 鋼管製造技術上の 2, 3 の問題について                                    | 鋼管部会長 原 田 芳            |                               |
|        |      | 条鋼部会線材分科分  |                        |                               |
|        |      | 線材圧延工場の設備と技術の進歩について                                      | 線材分科会主査 浅 田 幸 吉        |                               |
|        |      | 昼 食 休 憩  |                        |                               |
| 13・00  | 89   | エレクトロスラグ再溶解法の鋼質におよぼす影響                                   | 日立金属工業, 安来工場<br>〃<br>〃 | ○一安 六夫<br>石川 勝久…1940<br>中村 信夫 |
| 13・25  | 90   | エレクトロスラグ再溶解法における電極直径と電気抵抗に対するモデル的考察                      | 日立金属工業, 安来工場<br>〃<br>〃 | ○一安 六夫<br>石川 勝久…1942<br>中村 信夫 |
| 13・50  | 91   | エレクトロスラグ再溶解法における溶解時の 2, 3 の現象に対する考察                      | 日立金属工業, 安来工場<br>〃<br>〃 | ○一安 六夫<br>石川 勝久…1946<br>中村 信夫 |
| 14・15  | 92   | 交流小型エレクトロスラグ再溶解炉による反応機構の検討 (エレクトロスラグ再溶解法に関する基礎的研究-I) (幻) | 神戸製鋼所,<br>中央研究所<br>〃   | 成田 貴一<br>○伊藤 孝道…1948<br>松本 重喜 |
| 15・00  |      | 特 別 講 演 会  |                        |                               |
|        |      | 1. 造船業会の将来の展望と鉄鋼材料に対する要望                                 | 三菱重工業(株)長崎造船所          |                               |
|        |      |  | 副所長 秋 友 素 身            |                               |
|        |      | 2. 演題未定  | 日本建築学会副会長              |                               |
|        |      |  | 東京大学教授 坪 井 善 勝         |                               |

第 4 会場 (非金属介在物) 第 3 日 (10 月 15 日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目  | 講 演 者                            | ○印  |
|-----------|------|--|----------------------------------|---|
| 9・00      | 93   | 介在物の生成ならびに分解挙動について<br>(Fe-Cr-O 系鋼での非金属介在物に関する基礎的研究-V)                | 大阪大学工学部<br>川崎製鉄                  | 足立 彰<br>○岩本 信也...1951<br>四十万小二                  |
| 9・25      | 94   | 鋼の Si 脱酸生成物について<br>(脱酸生成物の研究-I)                                      | 大阪大学工学部<br>〃<br>〃                | 足立 彰<br>○岩本 信也...1953<br>斎藤 吉弘                  |
| 9・50      | 95   | Al 脱酸における脱酸生成物の挙動<br>(鉄鋼中の脱酸生成物の挙動に関する研究-I) (幻)                      | 金属材料技術研究所<br>〃                   | ○内山 郁...1956<br>斎藤 鉄哉                           |
| 10・15     | 96   | Mn と Al および Si と Al 各共同脱酸鋼中の介在物の挙動について (圧延の際の鋼中非金属介在物の変形-V) (幻)      | 金属材料技術研究所<br>〃                   | 内山 郁...1959<br>○角田 方衛                           |
| 5 分 間 休 憩 |      |  |                                  |   |
| 10・45     | 97   | 溶鋼の脱酸反応機構に関する一考察 (幻)   | 関東特殊製鋼                           | ○泉田 和輝...1962                                   |
| 11・10     | 98   | 溶鋼の空気酸化によつて生成したマクロ介在物の生成機構について (幻)                                   | 関東特殊製鋼                           | ○泉田 和輝...1965                                   |
| 11・35     | 99   | 溶鋼中温度降下時における介在物の濃度変化について   | 名古屋大学工学部<br>〃                    | ○小島 康...1967<br>佐野 幸吉                           |
| 昼 食 休 憩   |      |  |                                  |   |
| 13・00     | 100  | Fe-C 系合金のセリウム脱酸と生成介在物の同定 (幻)   | 早稲田大学理工学部<br>〃                   | 草川 隆次...1970<br>○渡辺 靖夫                          |
| 13・25     | 101  | <sup>140</sup> La による鋼塊内の 1 次脱酸生成物の分布の追跡<br>(製鋼工場における R I の利用-X) (幻) | 八幡製鉄所, 技術研究所<br>〃<br>〃<br>〃<br>〃 | ○森 久<br>松尾 翠<br>縄田 義訓...1973<br>谷沢 清人<br>山手 実   |
| 13・50     | 102  | 造塊用黒鉛珪素質定盤の鋼中への混入について (幻)  | 富士製鉄, 広畑製鉄所<br>〃<br>〃            | 宮川 一男<br>○野村 悦夫...1976<br>片上 幹史<br>有馬 良士        |
| 14・15     | 103  | Al キルド極軟鋼板のスリーパー疵について (幻)  | 富士製鉄, 室蘭製鉄所<br>〃<br>〃            | 森永 孝三...1978<br>佐藤 進<br>○伊藤 健雄<br>広本 秀雄         |
| 5 分 間 休 憩 |      |  |                                  |   |
| 14・45     | 104  | セミキルド帯鋼の線きずについて (幻)  | 富士製鉄, 室蘭製鉄所<br>〃<br>〃<br>〃       | 森永 孝三...1981<br>佐藤 進<br>○伊藤 宏浩<br>広谷 浩<br>堀口 幸良 |
| 15・10     | 105  | ステンレス鋼造塊時の空気酸化による非金属介在物の形態挙動について<br>(ステンレス冷延鋼板の非金属介在物欠陥に関する研究-I)     | 日新製鋼, 周南製鋼所<br>〃<br>〃            | 辻 敬之助<br>○衣笠 雅普...1983<br>和田 安正<br>山本 大作        |

第 5 会場 (性質・試験) 第 1 日 (10 月 13 日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目   | 講演者○印   |
|-----------|------|---|---|
| 8・50      |      | 大会実行委員長挨拶 (第 1 会場)<br>開 会 の 辞   | 九州支部長 和田 亀吉<br>会 長 湯川 正夫  |
| 9・00      | 106  | 純鉄の脱酸, 脱硫におよぼす Misch Metal<br>の影響 (純鉄の研究-Ⅶ) (幻)                                       | 早稲田大学理工学部 草川 隆次...1987<br>〇大谷 利勝                                      |
| 9・25      | 107  | 深絞り用冷延リムド鋼板の材質的改善   | 住友金属工業 藤井 毅彦...1990<br>和歌山製鉄所 小川 三郎...1990<br>〇日野 貴夫                  |
| 9・50      | 108  | 純鉄および Fe-La 合金の窒素吸収値について (幻)  | 八幡製鉄, 東京研究所 瀬川 清...1992<br>〇和田 常富 栄一...1992<br>〇和田 要                  |
| 10・15     | 109  | 加熱に伴う鋼材表面の組成変化について<br>(熱間加工鋼材に形成される表面層の特性<br>-I) (幻)                                  | 三菱製鋼, 東京製鋼所 〇阿部 吉彦...1995<br>〇山田 雄康                                   |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |   |
| 10・45     | 110  | 冷間圧延用作動ロールの置き割れ現象について<br>(冷間圧延用作動ロールの研究-Ⅳ)<br>(幻)                                     | 日本製鋼所 小谷 守彦...1998<br>〇阪部喜代三...1998<br>〇松尾 治男                         |
| 11・10     | 111  | 芯部に非硬化部を有する円柱の熱処理による<br>残留応力 (冷間圧延用作動ロールの研究-<br>Ⅴ) (幻)                                | 日本製鋼所 下田 秀夫...2001<br>〇阪部喜代三...2001<br>〇松尾 治男                         |
| 11・35     | 112  | 鍛鋼製焼入ロール表面の熱衝撃割れ<br>(絞り込み被害部の観察および熱衝撃試験<br>-I) (幻)                                    | 日本製鋼所室蘭製作所 堀 清...2004<br>〇荒木田 豊...2004<br>〇田部 博輔                      |
| 昼 食 休 憩   |      |   |   |
| 13・00     | 113  | 低炭素低合金鋼の変態点と化学成分の関係<br>(幻)  | 住友金属工業 三好 栄次...2006<br>中央技術研究所 〇邦武 立郎...2006<br>〇岡田 隆保<br>〇小倉製鉄所 加藤 直 |
| 13・25     | 114  | SC材の焼入性および不完全焼入組織の機械的<br>性質におよぼす少量の Ni, Cr の影響<br>(鋼の諸性質におよぼす不純金属の影響に<br>関する研究-Ⅳ) (幻) | 金属材料技術研究所 〇吉松 史朗...2008<br>〇荒木 透...2008<br>〇中川 竜一                     |
| 13・50     | 115  | 低炭素薄鋼板の温間曲げ加工について<br>(幻)  | 東洋製缶東洋鋼板 周藤 悦郎...2011<br>総合研究所 〇斧田 一郎                                 |
| 14・15     | 116  | Zr 系標準鋼に関する研究<br>(材質特性と連続冷却変態曲線-I)<br>(幻)   | 日新製鋼周南製鋼所 〇藤田 春彦...2014<br>金属材料技術研究所 〇荒木 透...2014<br>〇中島 宏興           |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |   |
| 14・45     | 117  | ブリキのハンダ付け剝離強度におよぼす試験<br>上の諸因子 (幻)   | 東洋鋼板 〇有賀 慶司...2017<br>〇野村義一郎  |
| 15・10     | 118  | 透過法による厚鋼板の超音波探傷について<br>(幻)  | 八幡製鉄所 長島 晋一...2019<br>〇関野 昌蔵...2019<br>〇佐々木幸人<br>〇松岡 良明               |
| 15・35     | 119  | 低炭素リムド鋼管用ビレットの超音波探傷欠<br>陥と管の内面キズの関係について<br>(管用ビレットの鋼質と製管キズに関する<br>研究-I) (幻)           | 八幡鋼管 向江協公雄...2021<br>〇江藤 幹男...2021<br>〇松隈 茂                           |

第 5 会場 (性 質) 第 2 日 (10 月 14 日)

| 講演開始時間 | 講演番号 | 題 目  | 講演者                          | 印                                       |
|--------|------|--|------------------------------|---|
| 9:00   |      | <b>共同研究会報告講演会</b>                                    |                              |   |
|        |      | 製 鋼 部 会  |                              |   |
|        |      | 最近の製鋼法の進歩について  | 製鋼部会長 井上敏郎                   |   |
|        |      | 鋼 管 部 会  |                              |   |
|        |      | 鋼管製造技術上の 2, 3 の問題について                                | 鋼管部会長 原田芳                    |   |
|        |      | 条鋼部会線材分科会  |                              |   |
|        |      | 線材圧延工場の設備と技術の進歩について                                  | 線材分科会主査 浅田幸吉                 |   |
|        |      | 昼 食 休 憩  |                              |   |
| 13:00  | 120  | 熱延帯鋼の機械的性質, 冷間成型性におよぼす合金元素の影響 (冷間成型性高張力鋼板の研究-I) (幻)  | 日新製鋼, 呉製鉄所<br>//<br>//<br>// | 岩宮 久<br>角谷 卓爾...2025<br>入谷 喜雄<br>○丸橋 茂昭 |
| 13:25  | 121  | 熱延帯鋼の機械的性質, 冷間成型性におよぼす金属組織の影響 (冷間成型性高張力鋼板の研究-II) (幻) | 日新製鋼, 呉製鉄所<br>//<br>//<br>// | 岩宮 久<br>角谷 卓爾...2028<br>入谷 喜雄<br>○丸橋 茂昭 |
| 13:50  | 122  | 鋼中におけるニオブ炭化物, 窒化物および硫化物の熱力学的挙動 (幻)                   | 京都大学工学部<br>//<br>//<br>東洋工業  | 盛 利貞<br>○時実 正治...2031<br>中嶋 由行<br>佐伯 俊秀 |
| 14:15  | 123  | 低炭素鋼の機械的強度におよぼすニオブの影響 (Nb 添加鋼に関する基礎的研究-IV) (幻)       | 京都大学工学部<br>//<br>富士製鉄中央研究所   | 盛 利貞<br>○時実 正治...2034<br>岡本健太郎          |
| 15:00  |      | <b>特 別 講 演 会</b>                                     |                              |   |
|        |      | 1. 造船業会の将来の展望と鉄鋼材料に対する要望                             | 三菱重工業(株)長崎造船所<br>副所長 秋友素身    |   |
|        |      | 2. 演題未定  | 日本建築学会副会長<br>東京大学教授 坪井善勝     |   |

第 5 会場 (性質・熱処理) 第 3 日 (10 月 15 日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目   | 講 演 者  | 印       |
|-----------|------|---|--|---------|
| 9・00      | 124  | 焼戻に伴う組織および機械的性質の変化について (原子炉用 ASTM A-302B 鋼の研究-I) (幻)                                      | 八幡製鉄所, 技術研究所<br>〇長島 晋一<br>森 直道<br>土生 隆一<br>千々岩 力雄                      | ...2037 |
| 9・25      | 125  | 厚手鋼板の機械的性質について (原子炉用 ASTM A-302B 鋼の研究-II) (幻)   | 八幡製鉄所, 技術研究所<br>〇榎原 瑞夫<br>榎藤 永誠<br>佐藤 瑞夫                               | ...2040 |
| 9・50      | 126  | サブマージアーク溶接材料について (原子炉用 ASTM A-302B 鋼の研究-III) (幻)  | 八幡製鉄所, 技術研究所<br>〇森山 康<br>伊藤 悌二<br>熊谷 守浩<br>西田 時男                       | ...2041 |
| 10・15     | 127  | 中性子照射試験結果について (機械的性質) (原子炉用 ASTM A-302B 鋼の研究-IV) (幻)                                      | 八幡製鉄所, 技術研究所<br>〇下川 敬治<br>長島 晋一<br>UNC G. Stern<br>R. Knopf<br>J. Cihl | ...2044 |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |  |         |
| 10・45     | 128  | 照射済 A-302B 鋼の電子顕微鏡観察 (原子炉用 ASTM A-302B 鋼の研究-V) (幻)  | 日本原子力研究所<br>八幡製鉄所, 技術研究所<br>〇長島 晋一<br>土生 隆一<br>長谷 泰治                   | ...2047 |
| 11・10     | 129  | 引張試片に対する衝撃および静的特性の研究 (鉄鋼の切欠および平滑試片における熱処理温度と衝撃性質の関係-I) (幻)                                | 東北大学金属材料研究所<br>〇廉 永夏   | ...2049 |
| 11・35     | 130  | 衝撃引張試片における機械的性質に関する研究 (鉄鋼の切欠および平滑試片における熱処理温度と衝撃性質の関係-II) (幻)                              | 東北大学金属材料研究所<br>〇廉 永夏   | ...2052 |
| 昼 食 休 憩   |      |   |  |         |
| 13・00     | 131  | シャルピー試片に対する衝撃および静的特性の研究 (鉄鋼の切欠および平滑試片における熱処理温度と衝撃性質の関係-III) (幻)                           | 東北大学金属材料研究所<br>〇廉 永夏   | ...2056 |
| 13・25     | 132  | 3Mo, 3Ni-1Mo, 3Ni-3Mo, 3Ni-5Mo 鋼の焼戻挙動について (熱間工具鋼に関する研究-IV) (幻)                            | 日本特殊鋼<br>〇西村 富隆<br>新山 善之   | ...2059 |
| 13・50     | 133  | 9%W-Cr-V 鋼系 Mn-Cr 鋼系および Si-Mn 鋼系バネ材料の西原式摩耗試験, 高温振り試験および焼入剤による焼入効果等について (バネ材料に関する研究-V) (幻) | 熊本大学工学部<br>〇堀田 秀次  | ...2062 |
| 14・15     | 134  | 鉄酸化物ならびに Al 粉末による薄板の 2, 3 の脱炭・脱窒実験 (幻)  | 東洋鋼板, 下松工場<br>〇柴井 武彦<br>迎田 昌夫  | ...2063 |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |  |         |
| 14・45     | 135  | 鋼管材料の土砂摩耗について (幻)   | 八幡鋼管, 研究部<br>〇川内 信行<br>佐藤 次男<br>高橋 剛                                   | ...2066 |
| 15・10     | 136  | 軸受鋼巨大炭化物の均熱拡散   | 八幡製鉄, 光製鉄所<br>〇岡本 隆美<br>中村 一生<br>仕幸 貞男<br>三郎                           | ...2069 |
| 15・35     | 137  | 真空脱ガス軸受鋼の寿命について (幻)   | 山陽特殊製鋼<br>〇結城 晋<br>梶川 和男<br>山口 曼                                       | ...2071 |

第 6 会場 (高張力鋼・合金鋼) 第 1 日 (10 月 13 日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目   | 講演者○印   |
|-----------|------|---|---|
| 8・50      |      | 大会実行委員長挨拶 (第 1 会場)<br>開 会 の 辞   | 九州支部長 和田 亀吉<br>会 長 湯川 正夫  |
| 9・00      | 138  | 2, 3 の超強力鋼の破壊靱性におよぼす電子<br>ビーム溶解の影響 (幻)                                  | 金属材料技術研究所 荒木 透<br>〇安中 嵩...2074<br>〇谷地 重男                        |
| 9・25      | 139  | CO を含むマルエージング型ステンレス鋼の<br>熱処理と機械的性質について (マルエー<br>ジング型ステンレス鋼に関する研究-I) (幻) | 日本冶金工業, 横田 孝三...2076<br>川崎製造所 〇江波戸和男                            |
| 9・50      | 140  | 18Ni および 15Ni マルエージング鋼の常温<br>ばね特性について (ばね用超合金の研究-<br>VIII) (幻)          | 三菱製鋼 〇金井 良昭<br>〇関 不二雄...2079<br>〇上正原和典<br>〇内山 道良                |
| 10・15     | 141  | 18Ni および 15Ni マルエージング鋼の高温<br>ばね特性について (ばね用超合金の研究-<br>IX) (幻)            | 三菱製鋼 〇金井 良昭<br>〇関 不二雄...2082<br>〇上正原和典<br>〇内山 道良                |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |   |
| 10・45     | 142  | 含 Zr, W, V 迅速窒化鋼の機械的性質および<br>熱処理特性について<br>(迅速窒化鋼の研究-I) (幻)              | 特殊製鋼, 技術部 日下 邦男<br>〇荒木昭太郎...2084<br>〇佐々木 博                      |
| 11・10     | 143  | 析出硬化鋼の時効硬度および組織におよぼす<br>加工の影響 (析出硬化型高速度鋼の研究-<br>I) (幻)                  | 名古屋工業大学 〇矢島悦次郎<br>〇古沢 浩一...2087<br>理研製鋼 〇小林 実                   |
| 11・35     | 144  | 高速度鋼の低温焼入における靱性およびその<br>他の性質について<br>(高速度鋼の靱性に関する研究-I)                   | 日立金属工業, 安来工場 新持喜一郎<br>〇清永 欣吾...2089<br>〇渡辺 力哉                   |
| 昼 食 休 憩   |      |   |   |
| 13・00     | 145  | 非調質高降伏点鋼の 2, 3 の性質について  | トピー工業, 東京製造所 豊島 陽三<br>〇福田 栄一...2092<br>〇石田 徹<br>〇和野 裕<br>〇桑島 英明 |
| 13・25     | 146  | 高張力鍛鋼の特性について (溶接可能な高張<br>力鍛鋼の研究-I)                                      | 日本製鋼所, 室蘭製作所 小田 豊久...2094<br>〇柳本 竜三                             |
| 13・50     | 147  | 高張力鍛鋼の高温性質とヨコ方向靱性につい<br>て (溶接可能な高張力鍛鋼の研究-II)                            | 日本製鋼所, 室蘭製作所 小田 豊久...2096<br>〇柳本 竜三                             |
| 14・15     | 148  | 遅れ破壊試験法と 2, 3 の結果 (高張力鋼の<br>遅れ破壊性について-I) (幻)                            | 神戸製鋼所, 中央研究所 山本 俊二...2098<br>〇藤田 達                              |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |   |
| 14・45     | 149  | 連続鑄造により製造したステンレス線材の材<br>質について (幻)                                       | 八幡製鉄, 光製鉄所 太田 隆美<br>〇岡本 一生...2101<br>〇江口 直記<br>〇吉村 隆文           |
| 15・10     | 150  | 冷間引抜法によるステンレス組合鋼管および<br>その空引試験<br>(組合材料に関する研究-II)                       | 東京大学 〇藤津 昭平...2103  |
| 15・35     | 151  | 冷間加工を施した 18Mn-Cr オーステナ<br>イト鋼の回転曲げ疲れ強さについて<br>(幻)                       | 日本製鋼所, 室蘭製作所 渡辺 十郎<br>〇一岡 敏夫...2105<br>〇本社技術部 阪部喜代三             |

第 6 会場 (耐熱鋼) 第 2 日 (10 月 14 日)

| 講演開始時間 | 講演番号 | 題 目  | 講演者○印  |
|--------|------|--|--|
| 9:00   |      | <b>共同研究会報告講演会</b>  |  |
|        |      | 製 鋼 部 会  |  |
|        |      | 最近の製鋼法の進歩について  |  |
|        |      | 製鋼部会長 井 上 敏 郎  |  |
|        |      | 鋼 管 部 会  |  |
|        |      | 鋼管製造技術上の 2, 3 の問題について                                    |  |
|        |      | 鋼管部会長 原 田 芳  |  |
|        |      | 条鋼部会線材分科会  |  |
|        |      | 線材圧延工場の設備と技術の進歩について                                      |  |
|        |      | 線材分科会主査 浅 田 幸 吉  |  |
|        |      | 昼 食 休 憩  |  |
| 13:00  | 152  | Cr-Mo 系ボイラー用鋼管の高温強度におよぼす Al の影響について (幻)                  | 山陽特殊製鋼<br>〇梶川 和男...2107<br>矢木 敬二                         |
| 13:25  | 153  | 低 C-Cr-Mo-V 鋼の高温強度におよぼす熱処理の影響 (幻)                        | 住友金属工業, 中央技術研究所<br>〇岡田 三好 栄次...2110<br>隆保                |
| 13:50  | 154  | 転炉鋼によるボイラー用低炭素鋼の高温強度について (幻)                             | 住友金属工業, 中央技術研究所<br>〇行俊 三好 栄次...2112<br>岡田 田上 豊助<br>隆保 照夫 |
| 14:15  | 155  | 純酸素転炉によるボイラー用クロムモリブデン鋼の材質について (純酸素転炉による合金鋼の製造について-V) (幻) | 日本鋼管, 技術研究所<br>〇河合 川上 公成...2114<br>野崎 孝平<br>門間 洋彦<br>玄悟  |
| 15:00  |      | <b>特 別 講 演 会</b>   |  |
|        |      | 1. 造船業会の将来の展望と鉄鋼材料に対する要望                                 |  |
|        |      | 三菱重工業(株)長崎造船所  |  |
|        |      | 副所長 秋 友 素 身  |  |
|        |      | 2. 演題未定  |  |
|        |      | 日本建築学会副会長  |  |
|        |      | 東京大学教授 坪 井 善 勝   |  |



第 6 会場 (耐熱鋼・加工) 第 3 日 (10 月 15 日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目   | 講演者○印  |
|-----------|------|---|--|
| 9・00      | 156  | 15Cr-12Ni 系オーステナイト耐熱鋼におよぼす溶体化処理の影響 (弱析出硬化型オーステナイト耐熱鋼の研究-Ⅳ) (幻)              | 東京大学工学部<br>日立金属工業<br>藤田 利夫...2117<br>○九鬼 秀勝                                      |
| 9・25      | 157  | 含窒素 18Cr-12Ni 系耐熱鋼の高温性質におよぼす Mo, Nb, Ti, B の影響 (オーステナイト耐熱鋼の研究-Ⅴ) (幻)        | 金属材料技術研究所<br>〃<br>○河部 義邦...2120<br>中川 竜一   |
| 9・50      | 158  | 高窒素 25%Cr-28%Ni 耐熱鋼の高温時効による組織変化 (高窒素 25% Cr オーステナイト耐熱鋼に関する研究-Ⅳ) (幻)         | 東京工業大学<br>日本鋼管<br>田中 良平...2123<br>○篠田 隆之   |
| 10・15     | 159  | 高窒素 25%Cr-28%Ni 耐熱鋼の高温強度におよぼす Mo と窒素の影響 (高窒素 25% Cr オーステナイト耐熱鋼に関する研究-Ⅴ) (幻) | 東京工業大学<br>日本鋼管<br>田中 良平...2125<br>○藤田 隆之   |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |  |
| 10・45     | 160  | SCM 3 の機械的性質におよぼす少量 Nb 添加の影響 (幻)  | 神戸製鋼所, 中央研究所<br>〃 神戸工場<br>〃 中央研究所<br>〃<br>鈴木 章<br>金田 次雄...2127<br>新名 英司<br>○梶 晴男 |
| 11・10     | 161  | Cr-Mo 鋼の Ms 附近におけるベイナイト変態について (幻)   | 金属材料技術研究所<br>〃<br>○中島 宏興...2130<br>荒木 透  |
| 11・35     | 162  | 9% ニッケル鋼の焼入れ焼もどし (幻)  | 大阪大学工学部<br>〃<br>日立造船, 技術研究所<br>美馬源次郎...2133<br>○高橋 純造<br>山根 寿己                   |
| 昼 食 休 憩   |      |   |  |
| 13・00     | 163  | ロール成形力について (冷間ロール成形の研究-I)   | 富士製鉄, 中央研究所<br>〃<br>〃 川崎製鋼所<br>〃<br>戸田 陽一<br>○玉野 敏隆...2135<br>福島 紀<br>高橋 正道      |
| 13・25     | 164  | エンボスシートの試作に関する研究 (幻)  | 富士製鉄, 中央研究所<br>〃<br>〃<br>赤松 泰輔...2137<br>○柳本 左門<br>田海 幹生<br>福島 紀                 |

第7会場(加工・鋳造・溶接)第1日(10月13日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目   | 講演者○印   |
|-----------|------|---|---|
| 8:50      |      | 大会実行委員長挨拶(第1会場)<br>開会の辞   | 九州支部長 和田 亀吉<br>会 長 湯川 正夫  |
| 9:00      | 165  | 極低炭素鋼冷延リムド鋼板の深絞り性, 機械的特性におよぼす結晶集合組織の影響<br>(極低炭素鋼板のプレス加工性に関する研究-I)     | 川崎製鉄, 千葉製鉄所<br>〇神崎 文暁...2140<br>伊藤 庸                              |
| 9:25      | 166  | 極低炭素鋼冷延リムド鋼板の張り出し性におよぼす結晶集合組織, 結晶粒度の影響<br>(極低炭素鋼板のプレス加工性に関する研究-II)(幻) | 川崎製鉄, 千葉製鉄所<br>〇神崎 文暁...2142<br>伊藤 庸                              |
| 9:50      | 167  | 押出鋼管の先端異常性について(18-8ステンレス鋼管のリングテスト結果-I)(幻)                             | 住友金属工業, 鋼管製造所<br>〇宇多小路勝...2144<br>滝口 博司                           |
| 10:15     | 168  | 軟鋼管の冷間引抜きについて<br>(鋼管の冷間加工に関する研究-I)(幻)                                 | 八幡鋼管<br>〇向江脇公雄...2146<br>浅野 健<br>深津 清治                            |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |   |
| 10:45     | 169  | ホットストリップミル作動ロールの稼動中の温度(幻)   | 日立製作所, 日立研究所<br>〇新山 英輔...2149<br>高見 勝己<br>奥本 武臣<br>森 竜太郎<br>田中 俊章 |
| 11:10     | 170  | 圧延加工における材料の内部変形におよぼす接触機構の影響について                                       | 富士製鉄, 中央研究所<br>〇柳本 左門...2152                                      |
| 11:35     | 171  | 組立型補強ロールの曲がり発生機構に関するモデル試験(幻)  | 日本製鋼所, 室蘭製作所<br>〇堀 清...2154                                       |
| 昼 食 休 憩   |      |   |   |
| 13:00     | 172  | 線材スケールの組織と剝離性について   | 住友金属工業, 本社技術部<br>〇垣見 昇...2156<br>小倉製鉄所<br>藤田 通孝                   |
| 13:25     | 173  | 酸化鉄(Wüstite)の変態(幻)  | 住友金属工業, 中央技術研究所<br>〇白岩 俊男...2158<br>藤野 允克<br>松野 二三朗               |
| 13:50     | 174  | R値の簡易測定法について(幻)   | 東洋鋼鉄, 下松工場<br>〇鳥畑 俊夫...2161<br>世良 真一<br>水木 功<br>蔵尾 瑞範             |
| 14:15     | 175  | 含チタン鋳鉄中のチタン硫化物について(幻)   | 鉄鋼短期大学<br>〇谷口 光平...2163<br>山崎 隆雄<br>小栗 東洋子<br>菊地 俊郎               |
| 5 分 間 休 憩 |      |   |   |
| 14:45     | 176  | 鋳鋼の曲げ疲れ強さとそのピッチングリミットの推定(幻)   | 日本製鋼所, 室蘭製作所<br>〇渡辺 十郎...2166<br>荒木田 豊<br>工藤 浩一<br>斎藤 拓史          |
| 15:10     | 177  | 熔融亜鉛メッキ鋼板(ペンタイト)のスポット溶接について(幻)  | 日新製鋼, 尼崎工場<br>〇吉田 潔司...2168<br>若桜 謙璋                              |

第7会場(分析)第2日(10月14日)

| 講演開始時間 | 講演番号 | 題 目                          | 講演者○印   |
|--------|------|------------------------------|---|
| 9:00   |      | 共同研究会報告講演会                   |   |
|        |      | 製鋼部会                         |   |
|        |      | 最近の製鋼法の進歩について                |   |
|        |      | 製鋼部会長 井上敏郎                   |   |
|        |      | 鋼管部会                         |   |
|        |      | 鋼管製造技術上の2,3の問題について           |   |
|        |      | 鋼管部会長 原田芳                    |   |
|        |      | 条鋼部会線材分科会                    |   |
|        |      | 線材圧延工場の設備と技術の進歩について          |   |
|        |      | 線材分科会主査 浅田幸吉                 |   |
|        |      | 昼 食 休 憩                      |   |
| 13:00  | 178  | 鋼の銅プリント法について                 | 八幡製鉄所, 技術研究所 武井 格道<br>二村 英治...2171<br>〇山崎 精一                      |
| 13:25  | 179  | クロラニール酸バリウムによる鋼中のホウ素の吸光光度定量法 | トピー工業 〇若松 茂雄...2173   |
| 13:50  | 180  | 1% C-1.5% Cr 軸受鋼中の酸化物系介在物の定量 | 八幡製鉄, 光製鉄所 金井 俊睦<br>竹内 英磨...2176<br>〇若松 道生                        |
| 14:15  | 181  | 速中性子放射化による鋼中酸素迅速定量法に関する研究(幻) | 富士製鉄, 中央研究所 〇志村 一輝<br>浜中 一男...2178<br>天野 実勲<br>東京芝浦電気, 中央研究所 藤井 勲 |
| 15:00  |      | 特別講演会                        |   |
|        |      | 1. 造船業会の将来の展望と鉄鋼材料に対する要望     |   |
|        |      | 三菱重工業(株)長崎造船所                |   |
|        |      | 副所長 秋友素身                     |   |
|        |      | 2. 演題未定                      |   |
|        |      | 日本建築学会副会長                    |   |
|        |      | 東京大学教授 坪井善勝                  |   |

第 7 会場 (熱処理・表面処理・腐食) 第 3 日 (10 月 15 日)

| 講演開始時間    | 講演番号 | 題 目  | 講 演 者                           | 印   |
|-----------|------|--|---------------------------------|---|
| 9・00      | 182  | オーステナイト結晶粒に関する 2, 3 の観察<br>(オーステナイト結晶粒に関する研究-I)<br>(幻)               | 日本製鋼所,<br>室蘭製作所                 | ○本間 亮介...2181                                   |
| 9・25      | 183  | オーステナイト結晶粒度におよぼす加熱速度<br>および前処理の影響 (オーステナイト結晶<br>粒に関する研究-I) (幻)       | 日本製鋼所,<br>室蘭製作所                 | ○本間 亮介...2183                                   |
| 9・50      | 184  | ガス浸炭窒化層における窒素の拡散におよぼ<br>す少量の Cr, Mo の影響 (幻)                          | 金属材料技術研究所<br>〃<br>滋賀県立機械金属工業指導所 | ○倉部兵次郎<br>荒木 透...2186<br>河崎 勲                   |
| 10・15     | 185  | 内部摩擦測定によるオーステナイト系ステン<br>レス鋼の応力腐食割れの研究 (幻)                            | 大阪大学工学部<br>〃                    | 美馬源次郎...2189<br>○堀 茂徳                           |
| 5 分 間 休 憩 |      |  |                                 |   |
| 10・45     | 186  | アルカリ腐食に関する研究<br>(ボイラー用鋼管の腐食に関する研究-I)<br>(幻)                          | 日本鋼管, 技術研究所<br>〃<br>〃<br>〃      | 耳野 亨<br>村瀬 貞彦<br>橋田 勝行...2192<br>○遠藤 正<br>中沢 利雄 |
| 11・10     | 187  | 実装置における CO および H <sub>2</sub> を含有する高<br>温ガスによるステンレス鋼管の腐食につ<br>いて (幻) | 住友金属工業,<br>鋼管製造所<br>〃           | 森島 達明<br>堤 和夫...2194<br>○酒井 寿彦                  |
| 11・35     | 188  | 電気亜鉛鍍金鋼板表面の経時変化について<br>(幻)   | 富士製鉄,<br>広畑製鉄所                  | ○西村 健...2197                                    |